**２０２3年度 肢体不自由児療育指導者講習会開催要項**

１　趣　旨　　肢体不自由児を療育指導する職員を対象に、必要な知識と技術を習得するための講習会を開催する。

２　主　催　　静岡県肢体不自由児協会

３　対　象　　保健師・看護師・保育士・特別支援学校・福祉施設職員・リハ専門職・福祉事務所の職員等

(第１-３回) 肢体不自由児のリハビリテーション・看護・教育・保育・ケースワークな

ど日常的に療育に携わる方

　 (第４回)　日常的に成人期の脳性麻痺のケアに関わる方

４　定　員　　各回３０名（定員に達した場合はお断りすることもあります。）

５　期　日　　【第１回】　６月２3日（金）・２4日（土）

　　　　　　　【第２回】　７月28日（金）・29日（土）

　　　　　　　【第３回】　８月２5日（金）・２6日（土）

　　　　　　　【第４回】　９月２2日（金）・２3日（土）

６　会　場　　静岡県総合社会福祉会館シズウエル（静岡市葵区駿府町1-70）

　　　　　　　静岡済生会総合病院地下講堂（静岡市駿河区小鹿１−１−１）

静岡済生会療育センター令和（静岡市駿河区曲金5-3-30）

７　受講料　　１日につき５，０００円（全日程終了後に請求書を送付しますので、指定口座にお振り込みください。振込手数料はご負担願います。）

８　申込方法・申込締切

　　別紙受講申込書を**5月19日（金）までに**ＦＡＸ送信してください。

９　内　容　　次ページ以降のプログラムをご確認ください。

＊第１-３回の講習会（とりわけ各回２日目の実技に関して）は、少なからず関連性がありますのでなるべく3回連続の受講をお勧めしております。

１０　留意事項

（１）６月２4日、７月29日、８月２6日、９月２3日の講習は実技を含むため、動きやすい服装で受講願います。（更衣室有）

（２）受講の可否については申込み締切後、お断りする場合のみ連絡いたします。

１１　申し込み・問い合わせ

　　　　　〒420-8670　静岡市葵区駿府町1-70　静岡県社会福祉協議会内

　　　　静岡県肢体不自由児協会事務局　（担当：経営支援課　松井）

　　　　電話：０５４－２５４－５２３１　ＦＡＸ：０５４－２５１－７５０８

**☆☆☆　5月5日(こどもの日)～11日は『児童福祉週間』です　☆☆☆**

**内　容（プログラム）**

**【第１回】肢体不自由児の総論**

**エッセンス**

肢体不自由についての概略、運動や心の発達について分かりやすくお伝えします。脳性麻痺、二分脊椎、筋ジストロフィー等の代表的な疾患の基本的な事柄の理解、また運動やその発達を左右する知的な活動や精神的活動（人や物に対する興味や関心）を促すための接し方や育て方、機能訓練の関わりや理学療法や作業療法についての基本の理解などがテーマです。

また、日常の生活や活動をサポートする車椅子・装具・座位保持椅子と作成に関わる公的な取り決めや手順などについても取り上げていきます。

注）実技では極端な発達障害の合併は想定しておりません。

**＜ 講義中心　６月２3日（金）＞**

会場：県総合社会福祉会館シズウエル　6階　601会議室（静岡市葵区駿府町1-70）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ９:00～ | 開会の挨拶・肢体不自由児協会の紹介　　副理事長　橋田　憲司 | |
| ９:20～10:40 | 肢体不自由児と教育について | 静岡県教育員会  相談員　渡邊　浩喜 |
| 10:50～12:10 | 重度脳性麻痺の健康 | つばさ静岡  医　師　山倉　慎二 |
| 13:10～14:30 | 肢体不自由児の心理面からの理解１  —幼児期を中心に― | 静岡大学　教育学部  教　授　香野　毅 |
| 14:40～16:00 | 肢体不自由児の心理面からの理解２  —学齢期を中心に― | 静岡大学　教育学部  教　授　香野　毅 |

**＜ 実技中心６月２4日（土）＞**

会場：静岡済生会総合病院地下講堂（静岡市駿河区小鹿１−１−１）

　　　静岡済生会療育センター令和2階理学療法室（静岡市駿河区曲金5-3-30）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ９:10～10:30 | 肢体不自由児概論 | 静岡県立こども病院  医　師　滝川　一晴 |
| 10:40～12:10 | 補装具・車椅子など | 静岡済生会療育センター令和 医　師　廣岡　敦子 |
| 13:10～16:00 | 訓練の基礎（理学療法） | 静岡済生会療育センター令和  理学療法士　橋本　尚幸　ほか |

**【第２回】脳性麻痺の概論**

**エッセンス**

肢体不自由児の多くを占める脳性麻痺を中心に、疾患の基本的理解をテーマにしています。運動の発達（理想的な発達）とそのプロセスを理解した上で、成長とともに変化する脳性麻痺特有の姿勢や運動の問題（タイプ的特徴）や機能訓練のありかた、日常の配慮事項等の理解がテーマです。

また、脳性麻痺を理解しやすいよう実技を交えて行います。実技では、運動の成り

立ちや異常な運動、医学的リハビリテーションにそった具体的な対処の仕方を学び

ます。

注）実技では極端な発達障害の合併は想定しておりません。

**＜ 講義中心　７月28日（金）＞**

会場：県総合社会福祉会館シズウエル　1階　1０１会議室（静岡市葵区駿府町1-70）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ９:20～10:40 | 脳性麻痺の手術 | 静岡済生会療育センター令和  医　師　渡邊　完 |
| 10:50～12:10 | 神経筋疾患について | 伊豆医療福祉センター  医　師　渡邉　誠司 |
| 13:10～14:30 | 脳性麻痺のてんかん | 静岡てんかん神経医療センター  医　師　山﨑　悦子 |
| 14:40～16:00 | 障害児を抱える家族の問題 | 井出商会  社会福祉士　井出　容敬 |

**＜ 実技中心　７月29日（土）＞**

会場：静岡済生会療育センター令和　２階理学療法室（静岡市駿河区曲金5-3-30）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ９:10～15:30  （休憩12:00～13:00） | 脳性麻痺の訓練（実技含む） | うんどう発達Laboすくすく  理学療法士　山内　一之  静岡済生会療育センター令和  理学療法士　橋本　尚幸　ほか |

**【第３回】脳性麻痺の各論**

**エッセンス**

第２回で取り上げた脳性麻痺をベースに、更に踏み込んで健康とQOL（生活の質）の向上のための関わりや工夫、コミュニケーションの意味やその発達について学びます。実技では、第２回の復習をしつつ具体的な対処の仕方を紹介します。総まとめとして、実際に子どもさん方の協力のもと、対応の仕方を確認します。

注）実技では極端な発達障害の合併は想定しておりません。

**＜ 講義中心　８月２5日（金）＞**

会場　県総合社会福祉会館シズウエル　1階　101会議室（静岡市葵区駿府町1-70）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 9:20～10:40 | 脳性麻痺の摂食 | 静岡県立こども病院  歯科医師　加藤　光剛 |
| 10:50～12:10 | 重度脳性麻痺の栄養 | つばさ静岡  医　師　浅野　一恵 |
| 13:10～14:30 | 作業療法と日常生活動作 | 静岡済生会療育センター令和  作業療法士　伊井　玄 |
| 14:40～16:00 | 脳性麻痺の言語訓練 | 静岡済生会療育センター令和  言語聴覚士　橋本　潤子 |

**＜ 実技中心　８月２6日（土）＞**

会場　静岡済生会療育センター令和　２階理学療法室（静岡市駿河区曲金5-3-30）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ９:10～15:30  （休憩12:00～13:00） | 脳性麻痺の訓練（実技含む） | うんどう発達Laboすくすく  理学療法士　山内　一之  静岡済生会療育センター令和  理学療法士　橋本　尚幸　ほか |

**【第４回】成人脳性麻痺**

**エッセンス**

加齢とともに姿勢・運動はどのように変化し、どのような問題が起こりやすいのか、運動機能の維持や心身の健康を保つために気を付けたい事柄やその対応について学びます。

実技では、肢体不自由・重症心身障害に分けてどのように機能訓練を行うべきかを学んでいただきます。変形・拘縮の成り立ちの理解や機能低下の予防、側弯やポジショニングや呼吸等を含め理学療法的な関わりを取り上げます。

**＜ 講義中心　９月２2日（金）＞**

会場：県総合社会福祉会館シズウエル　6階　601会議室（静岡市葵区駿府町1-70）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ９:20～10:40 | 成人脳性麻痺の問題と治療 | 静岡済生会療育センター令和  医　師　森山　明夫 |
| 10:50～12:10 | 成人脳性麻痺の健康管理 | 静岡てんかん神経医療センター  医　師　山崎　悦子 |
| 13:10～14:30 | 成人期以降の姿勢と運動について  —スポーツを含めた理学療法的関わり― | 静岡済生会療育センター令和  理学療法士　橋本　尚幸 |

**＜ 実技中心　９月２3日（土）＞**

**成人脳性麻痺者のリハビリテーション**

会場：静岡済生会療育センター令和　２階理学療法室（静岡市駿河区曲金5-3-30）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ９:10～11:30 | 講義及び実技（軽症の方を中心に）  ①姿勢と動作を考える  （作業に適した座り方とは）  ②頸部・肩の痛みと腰痛に対するセルフケア  （自主トレ・身体の管理） | うんどう発達Laboすくすく  理学療法士　山内　一之  静岡済生会療育センター令和  理学療法士　橋本　尚幸　ほか |
| 11:40～12:00 | 症例 |
| 13:10～15:00 | 講義及び実技（重症の方を中心に）  ①変形・拘縮に対するアプローチ  （身体に適したポジショニング）  ②身体機能・活力の維持  （呼吸と自律神経の働きに目を向けて） |
| 15:10～15:40 | 症例 |
| 15:40～15:50 | 質疑応答・まとめ |
| 15:50～ | 閉会の挨拶　　理事長　森山　明夫 | |